

ガ ん ダ



議会だより No.169

6月定例会・議案質疑	… P 2
委員会質疑	…… P 3
議決結果・議会のうごき	…… P 4
一般質問	…………… P 6～
あとがき	…………… P 16

表紙の写真

新津中で行われた京都郡中学校バドミントン大会での迫力あるスマッシュ！

団体戦は上位2チーム、個人戦（シングルス、ダブルス）は上位2名（組）が地区大会へ進出し、県大会出場を目指します。



一般会計補正予算等19件、意見書2件を審議

6月5日
～
6月23日

補正予算

令和8年度苅田町一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ1億4308万3千円を追加し、総額は187億5856万2千円。

条例改正

●児童福祉法等の一部

＊一般会計補正予算（歳出で補正した主なもの）

【一般会計補正予算（第1号）】	
・集会所施設整備補助金	588万円
・自治振興補助金	950万円
・土壤汚染調査委託料	2635万円
・宿泊税交付金基金積立金	248万円
・歴史博物館整備実施設計業務委託料	8825万円

を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

●児童福祉法等の一部を改正する法律及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

その他の議案

●財産の取得について
小中学校学習用情報機器端末の購入（タブレット2620台）。
食缶・器具消毒保管機等機器の購入。

人事案件

●京都郡公平委員会委員の選任
栗焼 憲児氏を選任。

●教育委員会委員の任命
ながお 明美氏を任命。

●農業委員会委員の任命

岩谷 潔氏、
尾形 武文氏、
緒方 智保氏、
松蔭 悟日梅氏、
松蔭 美紀子氏、
吉本 美智子氏、
笠 正則氏を任命。

専決処分

●令和8年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
赤字分の繰り上げ充用を行うもの。

●苅田町税条例の一部

を改正する条例の制定

●苅田町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
地方税法等の一部改正による所要の改正。

追加議案

●工事請負契約の締結
（新津中学校特別教室棟・体育館外壁及び防水改修工事）

株式会社誠建設を工事請負人と定める。

●工事請負契約の締結
（中央公民館大規模改修工事）

池田興業株式会社を工事請負人と定める。

意見書

●すべてのケアラーに対する包括的な支援と

法的枠組みの整備を求める意見書

●地方財政の充実・強化に関する意見書

議案質疑

【教育費】

●歴史博物館の実施設計業務委託料
8800万円の経緯と状況は。

●解体された歴史資料館は建設から50年が経過し、石塚山古墳から出土した国指定史跡の文化財を飾ることができなかった。今回、博物館として整備することにより、展示できるようになる。コンパクトにまとめ、建設コ

ストを抑えた形で建設予定。

●年間どのくらいの維持管理費を想定しているのか。

●明確な数値は出していない。なるべく費用がかからない方法で進める。

要望

恒久的に維持管理をしなければならぬ施設。経費面もしっかり検討して進めていただきたい。

●専決処分（国民健康保険特別会計補正予算第1号）

●1800万円の赤字。過去3年間の繰り上げ充用金額は。
令和5年度
1791万4825円、令和6年度

委員会質疑

総務

常任委員会

●一般会計補正予算（第1号）

●自治振興費の修繕料の内容は。

●松原公民館のトイレ改修。

●集会所施設整備補助金の内容は。

●エアコン整備が2件から9件に増えた。

●税条例の一部を改正する条例

産業建設

常任委員会

●一般会計補正予算（第1号）

●農林水産業費

●多面的機能支払交付金の事務処理の煩雑さを解消する取り組みは。

●県や農政局へ陳情を行っている。

●加入団体数は。

●現在は6団体。

●加入団体数の推移は。

●減少傾向にある。

【商工費】

●改正により歳入がどの程度減るのか。

●大きな減額はない。

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●どの程度の軽減額になるのか。

●大きな減額はない。

厚生文教

常任委員会

●一般会計補正予算（第1号）

【民生費】

●移転負担金の内容は。

●総合福祉会館内の苅田医会移転によるもので、内容は、文書類、什器などの移動にかかる費用。

●全額町負担か。

●協議書により全額町負担となる。

●児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

●地域限定保育士は、

●宿泊税交付金の配分割合は。

●観光ビッグデータと町内宿泊者数を基準として県が分配。

講習などを受講すれば誰でもなれるのか。

●筆記試験の合格後、保育実技講習会受講により資格をとれる。

財産の取得

●タブレットによる学力への影響は。

●町全体の学力面でみると、近年の全国学力学習状況調査では、小学校は全国平均を超えている。

●更新台数が多いが、タイミングは。

●令和6年度・7年度は、小中学校の新1年生への貸与分と故障破損などによる段階的なもの。今年度は導入から5年経過した一括更新。

財産の取得

●設備更新は、あとどれくらいか。

●今年は5年計画の4年目、来年度は食

研修報告 築上郡町議会議長会研修会

「東日本大震災と自衛隊の現状と課題」をテーマに第32代陸上幕僚長の火箱 芳文氏より講演がありました。「東日本大震災では、阪神・淡路大震災で自治体からの要請手続きに時間を要し、自衛隊の初動が遅れた」という教訓を生かし前例踏襲ではなく、より現場を優先した最悪の事態を想定し、要請を待たずに動くという判断が多く命を救いました。私たち自治体においても、「想定外だった」「要請がなかった」では済まれません。住民の生命と財産を守るためには、最悪の事態を想定し、自ら判断して行動できる組織づくりと人材育成が必要であると強く感じました。

一般質問内容一覧

6月定例会において
10名の議員が質問



質問者氏名	質問要旨	掲載
福山 直樹	1. 障害児の支援について 2. 認知症施策について 3. 成年後見制度と身寄りのない人の支援について	6 ページ
田淵 朗	1. 町道と農道の維持管理について 2. 荻田町中央公民館大規模改修について	7 ページ
末石 伸二	1. 空き家対策 2. 自転車の交通違反に対する青切符制度 3. 副町長としての基本姿勢・本町へのおもい	8 ページ
小山 信美	1. 里道・水路の維持管理のあり方 2. RS ウイルス感染予防対策	9 ページ
森 琢磨	1. ワンヘルス宣言自治体としての野良猫対策、災害時のペット同行避難対応について 2. 高齢者の健康寿命延伸に向けたスポーツ環境整備について	10 ページ
武内幸次郎	1. 我が町の未来への理想と創造	11 ページ
白石 学	1. 子ども計画 2. 老人福祉政策 3. 防災減災	12 ページ
角崎 明美	1. 未来世代に持続可能な荻田町を引き継ぐための食育・健康づくり・少子化対策について	13 ページ
坂本東二郎	1. 白川北部地区と葛川区の下水道整備について	14 ページ
岩谷 潔	1. 公共施設整備 2. 交通渋滞対策	15 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、荻田町議会ホームページでご覧いただけます。

令和8年第3回 荻田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	件名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	小山信美	武内幸次郎	坂本東二郎	榎谷忠明	沖永義樹	結果
議案第34号	令和8年度荻田町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第35号	専決処分について（令和8年度荻田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第36号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第37号	児童福祉法等の一部を改正する法律及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第38号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第39号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第40号	専決処分について（荻田町税条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第41号	専決処分について（荻田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第42号	京都郡公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第43号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第44号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第45号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第46号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第47号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第48号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第49号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第50号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第51号	工事請負契約の締結について（新津中学校特別教室棟・体育館外壁及び防水改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第52号	工事請負契約の締結について（中央公民館大規模改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第1号	すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第2号	地方財政の充実・強化に関する意見書（2027 予算）（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○－賛成、×－反対 欠－欠席 除－除斥（議案に利害関係を有するため退席）※議長（沖永義樹）は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。 ※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

議会のうごき

4月	2・8日	議会広報特別委員会（第168号）
	21日	行政視察受け入れ（香川県多度津町）
5月	19日	築上郡町議会議員研修会
	20日	行政視察受け入れ（静岡県函南町）
6月	1日	全員協議会

6月

2日	議会運営委員会
5日	第3回議会定例会（開会）、議会広報特別委員会（第169号）
9日	議案質疑
15～17日	一般質問
18日	付託委員会
23日	全員協議会、議会運営委員会、第3回議会定例会（閉会）、付託委員会、議会広報特別委員会（第169号）

9月定例会の予定

*会期は8月25日（火）から9月16日（水）まで

*一般質問は9月2日（水）・3日（木）・4日（金）

*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

議会中継アクセス件数（令和8年4月からの累計）

6月末時点アクセス件数

ライブ中継 320件

録画中継 3232件

Q 発達支援型巡回訪問 事業の成果は

A 保育士の支援力が 向上している



福山直樹（飛翔の会）



Q 事業の内容は。

A 保育園や幼稚園に専門家が訪問し、子どもの観察や保育士に関わり方の助言などを行っている。

Q 療育が必要と判断された子どもの人数は。

A 令和7年度は、観察した259人の内70人。

Q 把握した情報の生かし方は。

A パンジーの保健師が保護者の思いや状況を把握して、必要

に応じて専門職につないでいる。

Q 切れ目のない支援のために児童発達支援センターが必要と思うが、公募の状況は。

A 進んでいないが、京築圏内には4カ所あり、基準は満たしている。

Q 中核的な役割を期待されている事業だが、機能しているのか。

A 人材不足などにより、思うように機能

していないのが実態では。検証したい。

提言 広域での取り組みを含めて、発達支援の体制整備を進めるべきだ。

認知症施策

Q 認知症の早期発見の重要性は。

A 早期の治療により、進行の抑制や症状の軽減、改善が期待できる。

Q 認知症力フエの目的は。

A 認知症の方やその家族、地域住民が集

い交流する場所。現在1カ所設置し、月2回ほど実施している。

Q 認知症の早期発見にもつながると思うが、今後増やしていくのか。

A 意欲のある事業者や団体に働きかけた

い。

Q 財政的支援は。

A 補助金を交付している。

Q 実施個所を増やす

ために、認知症伴走型支援事業を活用してはどうか。

A 検討中であり、令和9年度には形にしたい。

成年後見制度と身寄りのない人の支援

Q 成年後見制度の利用者数は。

A 後見55件、保佐13件、補助3件、合計71件。

Q 相談状況は。

A 事業所の利用料未納による金銭搾取などが多い。

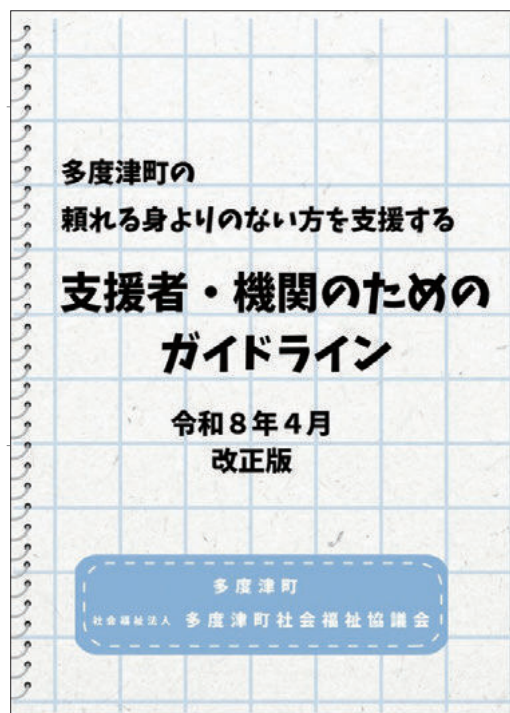
Q 国では制度改正が進められているが、改正後に予想される問題は。

A 制度を途中で終了できるようにするので、その後の支援を誰がするのかの問題がある。

Q 身寄りのない人の死後事務が大変だと聞いているが。

A それは理解している。多くの高齢者に終活の啓発が必要と考えている。

提言 身寄りのない人の支援ガイドラインやマニュアル作りを進めるべきだ。



多度津町社会福祉協議会 HP より

Q 町道と農道の 維持管理は

A 限られた人員、予算で 効率的に努める



田 渕 朗（高志会）



Q 町道認定の分類と基準は。

A 一級路線は幹線道路、二級路線は一級に準ずる幹線道路、その他の路線は生活道路。

Q 道路の陥没や危険箇所の把握は。

A 定期的なパトロール、電話、公式LINEによる通報や区からの陳情で必要に応じて順次対応を行う。

Q 道路整備の優先順位は。

A 重要度の高い路線の劣化調査を行い、舗装個別設計画を策定し決定。

Q 農道の分類と基準は。

A 一定要件農道とその他農道に分類。

Q 道路の陥没や危険箇所の把握は。

A 主に地元からの連絡や職員が道路パトロールで発見。

Q 農道の維持管理は。

A 農道の従事者に依頼し、要望は材料を支給。陥没や破損は

町が工事などで対応する。

荻田町中央公民館 大規模改修

Q なぜ今、大規模改修が必要なのか。

A 昭和54年建設の経年劣化による老朽化への対応、公共施設個別設計計画に基づく取り組み。

Q 省エネルギー化やユニバーサルデザインへの対応は。

A 今回の改修で照明

のLED化、空調設備の更新、トイレの洋式化、段差の解消、手すりの設置で安全で快適な施設へ。

Q 改修期間、代替施設は。

A 令和8年9月から令和10年2月まで。他の公民館の協力を得て代替施設の確保を進める。

Q 荷捌きリフトは屋外から屋内に変更されるが、コンパクトになるが、利用に支障は。

A 天候に左右されず利用者が安心して荷物を搬入でき、安全性と利便性を備えた。

Q 出演者のエレベーターの新設の検討は。

A エレベーターの設置には構造的、基礎工事など莫大な費用を要する。移動経路を改善し、利便性の

高い、使いやすい公民館になるよう検討する。

Q 改修に伴い中央公民館の名称変更は。

A 町民の皆様へ中央公民館で親しまれてきた。今回のリニューアルに伴い、愛称の募集を検討する。

提言 将来的に町民の

皆様が快適に利用できる施設として、費用対効果の高い改修になることを望む。



中央公民館

Q 空き家の戸数は

A 令和3年度、372戸



末石 伸二（飛翔の会）



Q 空き家に関する相談件数は。

A 令和4年度22件、5年度24件、6年度21件、7年度55件。

Q 空き家が増加している要因は。

A 高齢化が進み、住んでいた方の逝去や施設への入所などによるもの。

Q 特定空き家認定の状況は。

A 令和元年度4戸、2年度1戸、合計5戸の特定空き家を認定。

Q 行政代執行、略式代執行の状況とそれにかかった費用は。

A 略式代執行2件。通学路に面したブロック塀解体費約50万円。敷地内の小屋解体費約38万円。

Q 令和7年度にスタートした空き家バンクの登録件数や成約実績は。

A チラシなどにより周知を図ったが、物件登録に至っていない。

Q 空き家成約奨励金

や空き家改修等補助金は、空き家バンクを利用しないと活用できないが、対応策は。

A 空き家成約奨励金の周知を図り、町外在住者向けの電子申請登録の対応を検討する。

Q 空き家対策として、高齢者や単身高齢者に対する具体的な取り組みは。

A 空き家対策ガイドブックを作成する予定であり、福祉課や社

会福祉協議会と連携を図り、配布方法など検討を進めていく。

自転車青切符制度

Q 本町の自転車事故発生状況は。

A 令和8年1月から4月末までの自転車関連事故17件、死者数0人、負傷者数17人。

Q 学校現場において、どのような啓発、交通安全教育を実施されているのか。

A 警察や企業の協力を得て、地域で安全に生活できるような実践的な交通安全意識を育んでいる。

Q 外国人住民

の自転車利用の安全対策は。

A 5カ国語のチラシを役場ロビーにある外国人情報コーナーでの配布や外国人向けのフェイスブックに掲載をしている。事業所からの依頼に対しては、多文化共生担当が出前講座の中で周知を行う。

Q 副町長として本町へのおもい

Q 副町長の認識とし

て、本町の強みは。

A 本町の重要港湾が発展の基礎であり、それに伴う積極的な企業活動により、財政状況が安定しているのが強み。

Q 課題は。

A 不交付団体であり、景気の影響をダイレクトに受けるため、自立できた財政運営を行っていく必要がある。

国土交通省
日本司法書士会連合会
全国空き家対策推進協議会

住まいの
エンディングノート

このノートは（氏名）が
年 月 に書きました。

住まいをお持ちの皆さまへ。いま、地域や家族に迷惑をかけてしまう放置空き家の存在が、社会問題になっています。
放置空き家にしないため、「仕舞う（除却）」「活かす（活用）」の行動を、ご家族いっしょに今から考えてみませんか？

「全国空き家対策推進協議会」とは、空き家対策を検討するため、1,000以上の自治体が集まった組織です。

住まいのエンディングノート

Q 里道・水路の維持管理は

A 地元管理で、負担割合は二割



小山 信美（公明党）



Q 過去5年間の維持管理費の推移は。

A 平均約850万円。

Q 今後の財政負担の見込みは。

A 増加と考えている。

Q 町有財産としての管理面積は。

A 里道は約50・5鈐、水路は約36鈐。

Q 地元負担金を求める法的根拠は。

A 従前どおり運用を継続している。

Q 町内同一の負担割合なのか。

A 一律10%。

Q 近隣自治体の負担割合は。

A 行橋市0%、豊前市30%、上毛町10%、築城町と吉富町0%、北九州市50%。

Q 老朽化の実態把握の方法は。

A 定期的なパトロールは無い。町民の通報で把握している。

Q 地域だけで維持管理は困難だが、支援策は。

A 防草シートなどの原材料を配布。

Q 維持管理の中長期

的な計画策定は。

A 用途廃止で、売り払うなど機能管理と財産管理をしていく。

提言 受益者負担の考え方は理解するが、妥当性の検証と見直しをすべきだ。

RSウイルス感染予防対策

Q 周知の進捗状況は。

A 個別勧奨を行っていない117人に案内を送付。妊婦さんには説明と予診票を

配布している。

Q 見込み人数と予算措置額は。

A 350人想定で1050万円を計上。

Q 「母子モ」の登録状況と目標値は。

A 令和8年3月現在累計1481人。母子手帳交付者全員。

Q 医療費の状況は。

A 医療費は減少だが、1人当たりの医療費

は増額傾向で、6年間で約18・2%増加。

Q 基礎疾患を有する高齢者の、重症化リスクの認識は。

A 重症化しやすく入院や死亡に至ると認識。

Q 高齢者への周知は。

A 町のホームページ。今後は検討していく。

Q ワクチン接種での医療費削減メリット

は、町民の健康維持や財政の安定につながるのでは。

A 審議会の動向を見て進みたい。

Q 入院医療費や介護費の抑制効果に対し調査研究は。

A メリットはあると思うので、情報収集を行っていく。

令和8年度から、
妊娠28週～36週の妊婦の方を対象に

RSウイルス感染症に対する 母子免疫ワクチンの 定期接種を実施します。

RSウイルス感染症は乳幼児が感染すると重症化することがあります
RSウイルスは小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。
感染すると、発熱、鼻水、咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。
2010年代には、年間12万人～18万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、3万人～5万人が入院を要したとされています。

定期接種の対象
接種時点で、**妊娠28週0日 から 36週6日 までの妊婦の方**
過去の妊娠時にRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を接種したことのある方も対象になります。

定期接種を受ける方法と費用
定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。
接種できる場所や費用について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。また、里帰り出産によりお住まいの市町村外での接種を希望する場合についても、お住まいの市町村にお問い合わせください。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Q 高齢者の健康寿命延伸の施策は

A ハード&ソフト支援策に取り組み



森 琢磨（高志会）



Q 高齢者健康寿命延伸効果が期待されるスポーツ活動の現状は。

A 各地開催のウォーキングやラジオ体操、グラウンドゴルフなど。

Q 参加率などは

A グラウンドゴルフの参加者は年々増加。

Q 活動場所の設置状況や配置バランスは。

A 町全体で広く活動偏りはない。

Q 活動場所の改善要望は。

A グラウンド照明のLED化や屋外での日よけ設置など。

Q 今後の高齢者増加を踏まえての施設整備方針は。

A 高齢者の身体的、心理的ニーズに配慮した改修を検討。

Q グラウンドゴルフの環境整備状況は。

A トイレとベンチはおおむね設置済み。熱中症対策で、今年度、屋根付きシェルターを設置。

Q グラウンドゴルフ

を普及させるには。

A スポーツレクリエーション祭での取り組み強化や啓発。

Q スポーツ参加促進や健康寿命延伸を図るため、スポーツ環境の整備と併せて、フレイル予防や介護予防の成果指標を導入した施策運営は。

A 職員一丸となって知恵を出し合い、議員各位の意見を踏まえ、政策を進める。

提言 限られた財源の中で、実効性の高い、

地域づくりや生活習慣病などの重症化防止を図るため、施策の客観的な効果検証を行うべきだ。

ワンヘルス宣言の取り組みと野良猫対策

Q 取り組み内容は。

A 「北公動物フェスタ2025」の開催や地産地消フェアでのパネル展示など。

Q 周知方法は。

A 体験型イベントの継続や拡充。広報紙やSNSの情報発信強化。

Q 災害時のペット同行避難所運営方針は。

A 飼育の犬、猫などの無害な動物と、飼い主と一緒に避難所へ避難。

Q ペット用品備蓄は。

A 飼い主が準備。

Q 野良猫対策は。

A 現場での餌やり指導。さくら猫無料不妊去勢手術事業。

Q 対策の進捗状況は。

A 把握していない。

Q 現行対策の見直しと今後の展開は。

A さくら猫事業チケット申請の電子化。新たなチラシ作成に

よる周知啓発。

提言 現制度・対策の周知徹底と積極的運用を図るべきだ。そのためにも、一目瞭然のチラシを早期作成し、周知を望む。



高城山を借景に楽しむグラウンドゴルフ(大熊公園)

Q 港湾整備は本町発展の礎だ

A 重要性は認識している



武内幸次郎（無会派）



Q 港湾整備計画の見直し中と聞くが、現状把握は。

A 県で改定作業中だが、今年度末には改訂予定。

Q 新松山岸壁の整備が行われているが未完成部分の完成時期は。

A 埋立整備は今年度末。

Q 松山岸壁の計画は4区分の水深だ。5・5㍎、7・5㍎、12㍎、13㍎の係留トン数は。

A 係船能力として、

5・5㍎で2千ト、7・5㍎で5千ト、13㍎で4万ト。増深で大型船の係船能力が増す。

Q 埠頭用地、約43㍎の造成完了時期は。

A 県事業として行われているが、10㍎は今年度末の計画。

Q 国際物流ターミナルなどの大型インフラ整備計画が立てられている。本町としての要望は。

A 苅田港の機能強化として、港湾施設整

備や工業用地確保など多岐にわたり要望している。

Q 苅田港は国際港でもある。貿易相手国の把握は。

A 把握はしていないが、アジア、中東、北米、ヨーロッパ、中南米など世界中に送っている。

Q 貯木場跡地が約50㍎ある。埠頭整備に向け環境アセスメント中と聞く。整備予定は。

A 現状把握していな

い。

工業用地確保と中小企業支援

Q 企業の大半は中小企業だが実態調査は。

A 行っていない。

Q 企業立地促進条例の規則改正の肝は。

A 国内回帰や製造業の設備投資の増加、雇用促進などの支援拡充。

Q 企業誘致への課題は。

A 新たな企業立地や事業拡大に必要な用地不足、専門的な技術や知識を有する人材確保。

提言 中小企業支援として展示会への参加費、暑さ対策、情報提供など多岐にわたる。誘致支援と合わせ立地企業への支援

も目配りをすべきだ。

Q 法の規制も厳しいが状況変化に対応した土地活用の見直しが不可欠では。

A 土地の有効活用は国の制度改革などを見据え考える余地はある。県や国への情報収集を行う。

提言 教育、福祉の充実した町づくりには原資が必要だ。好機を捉えさらなる発展へと導き財源確保すべきだ。



新松山埋立地

Q子どもまんなか社会の実現性は

A 子どもを権利の主体とした切れ目のない支援



白石 学（公明党）



Q 子どもの権利条約・基本法の理念の周知、権利意識の向上にどう取り組むのか。

A 分かりやすく読みやすい、子ども計画の子ども版を策定。アプリで活用を配信。

Q 子ども計画では子どもの意見聴取が重要だ。幅広い年代の子どもの参加を求めるのか。

A 出張町長室や西日本工業大学、北九州保育福祉専門学校の生徒からの意見聴取

を実施。町の施策への検討を進める。

Q 子どもの意見表明、参加に関し、子ども会議や若者会議等を作っては。

A 西日本工業大学、苅田工業高校で、町政に対する意見を直接聞く計画をしている。子ども会議は検討する。

Q 子どもの居場所づくりについて、子どもの意見を反映させるための方向性は。

A 大熊・向山公園の

再整備事業に小中学生が参加し、意見を反映させた。今後も子どもたちの参画を促す。

老人福祉

Q 老人クラブ連合会は、多岐にわたり活動。町の助成金は年々減少しており、物価高騰で活動継続へ不安の声がある。減額の理由は。

A 主な原因は会員数の減少だ。会員数に

単価をかけて補助金を計算するため減少する。

Q 会員が減っても活動や行事を減らせない。老人クラブ連合会が果たしている役割についての認識や評価は。

A 健康づくりの拠点、地域社会の活性化と支え合いの促進、地域と行政の架け橋として果たす役割は非常に大きい。

Q 老人クラブは地域のコミュニティにとつて大事な存在だ。固定の金額や算出方法を引き上げては。

A 町を支えている活動が、継続的に活発にできる仕組みを検討する。

防災・減災

Q 幸町周辺の道路冠水について、神田樋門の改修は進んでいるのか。

A 基本設計は完了。詳細設計を11月末に完了予定。令和9年1月工事発注だ。



老人クラブ連合会の活動の様子

Q食育推進計画の現状と課題は

A 若い世代で朝食欠食が増加傾向



角 崎 明 美（無党派）



Q 朝食欠食増加や生活習慣の乱れに対し、学校での取り組みは。

A 食の指導と保健指導を行い、家庭と連携して生活習慣の改善に取り組んでいる。

Q 食の選択をする力を育むために学校で行っている取り組みは。

A 各校で食の指導計画を作り、生活科や家庭科



町内学校給食

の授業で指導している。

Q 学校給食における地場産物の活用状況は。

A 米や味噌、トマトは100%、玉ねぎ、

じゃがいもは町内産があれば使用。

Q 有機農産物の給食活用について、町の考えは。

A 価格や量と供給体制に課題があり、今のところ導入の予定は考えていない。

Q 先進地の取り組みを学ぶ考えはあるのか。

A 今のところ予定はない。

Q 妊娠期から栄養支援や健康づくりの取り組みは。

A 母子手帳発行時に資料を渡し、栄養相談の希望者や栄養指導が必要な妊婦に対して、管理栄養士による相談支援を行っている。

Q 泉大津市のマタニティ応援プロジェクトなどの先進自治体に対する認識は。

A 金芽米が妊娠期の食事として良いとは認識しているが、本町の状況に合った支援を考えたい。

Q 未来世代に持続可能な地域農業と豊かな自然環境を引き継ぐための取り組みは。

A 環境負荷低減型農業の推進、新規就農者の支援、既存農家の経営安定化に向けたサポートを行う。

Q 未来の子どもたちのためにどのような

本町を引き継ぎたいのか。

A 農業については、効率よく農業政策が進められるよう取り組む。

Q 本町を担う子どもたちに対するビジョンは。

A 子どもの数を国策として増やす政策が必要。本町の子どもたちが生き生きと健

康で個性を生かして育ってもらいたい。

提言 人々が健康で豊かな人生を送ることのできるまちづくりをするために、子どもたちへ未来の投資をするべきだ。



白川地区の田園

Q 白川葛川に早急に 下水道整備を

A 当面は合併浄化槽で



坂本東二郎（高志会）



Q 葛川区より下水道を早急に整備するよう区民決議文が提出されているが。

A 庁舎内でいろいろ検討して当面は合併浄化槽で整備することになった。



白川地区の田園から葛川区を望む

Q 葛川区の住民との対話が十分になされていないかったのでは。

A 個人に向けての説明はしていないが、西部公民館で住民説明会を行い、区長とも話をした。

Q 合併浄化槽の工事主体は。

A 住民が業者を選定し、設置する。

Q 合併浄化槽の維持管理は誰がするのか。

A 使用している住民。

Q 装置の保守点検、運転に係る電気代など

どは誰が負担するのか。

A 使用者本人。

Q 公共下水道の設置、維持管理運営は誰が行っているのか。

A 町で行っている。

Q 助成金はあったが、合併浄化槽と下水道では不公平感がある。住民からの決議文はどのくらい町に提出されているか。

A 直近では葛川区から出された決議文のみ。

Q 決議文は強く固い気持ちを伝えるのが本質。どう受け止めているのか。

A 町内全域を下水道区域にするのが望ましいが、全域に整っていないのが実態。

Q 合併浄化槽区域を固定化し、下水道を設置するの可否か。



白川地区の田園風景

A 将来的には行う。

Q 将来とはいつごろなのか。

A 時期については、今は言えない。下水道が計画通り進んでいない実態がある。

Q 白川地域は農業と併せて住宅地域としても望ましい所。下水道が必要なのは。

提言 快適な住環境を整えるためには社会資本である下水道を整備するべき。そして地域や郷土を愛する心を育むことである。

Q 町の発展につながる 土地利用を

A 荻田港循環線整備が 大事な戦略の一つ



岩谷 潔（飛翔の会）



Q 南原殿川線開通後の実態調査は。

A 実施していない。

Q 交通渋滞対策は。

A 関係機関による協議を続けていく。

新庁舎周辺整備事業

Q 進捗状況は。

A 三原文化会館と歴史資料館の解体が完了し、埋蔵文化財の確認調査中。

Q 今後のスケジュールは。

A 令和9年度に設計

施工の事業者選定、令和12年度までに庁舎完成。

Q 建物の概要は検討中か。

A 基本計画で設定している。

Q 事業費は。

A 庁舎64億6千万円、別棟14億2千万円、歴史博物館9億5千万円。

Q 別棟建設予定地の埋蔵文化財の調査は。

A 現庁舎を解体して判断する。

Q 庁舎建設予定地と

して最適なのか。

A 新庁舎建設検討委員会ですべて一致。

Q 物価高騰に伴う事業費増の見込みは。

A 10%から20%の増額はやむを得ない。

Q 総計100億円を超えるが、建て替えの経緯は。

A 庁舎整備方針検討業務において、建て替えが最もふさわしいと結論が出た。

Q 長寿命化と金額面で変わらないということか。

小波瀬西工大前駅周辺整備事業

Q 進捗状況は。

A 駅前広場などの配置の素案が整い都市計画決定の変更手続きの協議中。

Q 町が鉄道施設の設計までするのか。

A 予備設計は町が

A 耐震化で4億円程度、耐用年数15年2階フロアが狭くなるなど総合的に判断し建て替えに決定。

Q 起債は。

A 70億円程度、残りは公共施設整備基金から。

Q 事業費を抑え、住民の生活に直接つながる施設の整備を優先しては。

A 社会情勢を踏まえ、考える。



新庁舎建設予定地

行っている。

Q 鉄道施設内の事業費は町が出すのか。

A ある程度の出費を確保し問題解決に取り組む。

Q 事業費は。

A 35億円程度。

Q 駅周辺整備と同時に農業振興地域除外に取り組んでは。

A 住宅、商業、工業用地の確保は重要である。法の規制があり難しいが、引き続き取り組んでいきたい。

Q 事業費に見合う最大限の効果を得られるよう県にも働きかけ、町の発展を。

A ハードルが高いが地域全体が活性化する大事なミッションだと思っている。

苅田港緑地公園 「花植え活動」



7月2日、苅田港緑地公園にて花植え活動が行われました。この活動は、町内企業26社で構成される苅田港振興会の主催で年2回行われており、今回は約70名が参加し、夏の日差しに映えるマリーゴールドや日々草など950本を植え付けました。苅田港振興会は苅田町の発展と港湾の利用促進を目的に、地元企業と行政が協力して組織された団体です。今後も港を利用する人々に心地よい空間を提供するため、継続的に地域貢献活動を行っていきます。



表紙の写真



京都郡中学校バドミントン大会（於：新津中）

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
角 崎	森 琢 明	福 山 直 樹	田 淵 朗	末 石 伸 二	小 山 信 美	村 上 智 宣	榎 谷 忠 明

議会広報特別委員会

あとがき

暑さ厳しき折り、皆さまにおかれましては、体調に十分ご留意のうえ、健やかにお過ごしください。また、台風などへの備えも欠かせません。誰もが安全で安心して暮らせる地域づくりのために、地域の皆さま一人ひとりの協力も大切です。6月議会では、町民の皆さまの暮らしに直結する課題について活発に議論。その内容を分かりやすくお伝えできるよう努めています。引き続き、議会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

末石 伸二